

平成2009年2月16日

リベラルたじみ
石田浩司

会派行政視察報告書

視察参加者

仙石三喜男 石田浩司
土岐市議会 石川嘉康 布施素子 瑞浪市議会 足立亘

1 日目視察報告

視察先

場 所 東京都東京ドーム テーブルウエア・フェスティバル2009

日 時 平成21年2月5日(木) 12:00から15:00

所感

毎年恒例になっているテーブルウエア・フェスティバルの視察をした。17年目ということで主婦層中心に浸透しており、大変多くの方たちの参加で盛況であった。イベントは8つに別れており、日本の器、世界の器、テーブルウエア大賞、販売コーナーなど各ブースでは多彩な展示企画が行われていた。「日本の器を訪ねて」では、多治見として「上質のカジュアル」をテーマに、新たな食の空間を提案されており、「食に合う器」と題し、見ていだけで心地よい気分になるような質の高い器を多数展示がされていた。また、土岐市も「どんぶり百選」のテーマで出展されており美濃焼き全体の知名度アップにつながると思った。

視察風景



2日目視察報告

場 所 千葉県銚子市 銚子市立総合病院について
日 時 平成21年2月6日(金) 9:00から11:00
担当者 銚子市議会議長 石毛健治 議会事務局 小澤康孝

銚子市立総合病院について

内容について別添

所感

銚子市立市民病院は、診療科16科、病床数393床稼働病床数276床の病院であるが経営困難に陥り、昨年の7月に病院休止、現在、指定管理者制度により新事業者を募集中である。休止の要因は、医師不足、資金不足、病院改革が進まなかったことが大きな要因として挙げられている。公立病院経営は何処の自治体も同じ状況であり、銚子市は毎年9億円以上の経緯費を一般会計から繰り出すことができず、市財政から考えると休止せざるえない状況にあり、市長としても苦渋の選択をされた。市の財政状況や地域医療の状況の理解など、市民に広く広報等で周知をされているが、市民病院の必要性について市長リコール住民投票まで発展をしている。

視察風景



場 所 東京都田町 笹川記念会館 セミナー「公立病院改革 議員の視点から」

日 時 平成21年2月6日(金) 14:00から16:30

講 師 元総務省公立病院改革懇談会座長 長 隆
前宮城県病院事業管理者 久道 茂

所感

セミナーに参加して、公立病院の経営は広域的に考えていく必要があることを感じた。赤字続きの公立病院を再生させるためには、医師確保が欠かせない状況であるが、研修医制度により公立病院の勤務医は減少、自治体自体の財政力も低下をしており、また、財政健全化法により企業会計との連結決算を求められており、自治体として公立病院への多額の資金支援をする体制にない。その中で経営形態を変えていくには、公営企業法の全部適用、独立行政法人化、指定管理者制度の3つが挙げられ、民間委譲は公立病院としては問題あるとされていた。指定管理者制度では、大学の付属病院か、社会医療法人の事業者に決めることが望ましいと報告されていた。また、経営状況について損益計算書をしっかりと読み取り、本当の赤字額を把握することも必要であるとされた。



セミナー風景